

令和6年度 武庫川女子大学 社会情報学部自己点検・評価結果

武庫川女子大学社会情報学部自己点検・評価委員会において、「武庫川女子大学社会情報学部 数理・データサイエンス・AI教育プログラム（応用基礎レベル）」に関する自己点検・評価を実施した。

日 時： 令和7年3月6日（月）13：00～14：00

場 所： ZOOMによる開催

出席者： 運営委員長 新田直子、学部長 鯨坂恒夫、学科長 赤岡仁之、幹事教授 大森いさみ・福井哲夫
運営委員 大野ゆう子・庄野宏

【点検内容】

プログラム対象科目のシラバス、プログラム対象科目の履修・成績状況、授業アンケート結果等

1. プログラムの評価（総括）

プログラムとして修得すべき6科目のうち、今年度は5科目が開講された。おおむね9割以上の合格率となっており、計画されたプログラムが順調に推移している。令和7年度に開講される「AI演習」への履修を促すためにも特に「プログラミング演習Ⅰ」の修得が重要と考えられる。今年度の状況を踏まえ、実施内容・方法の改善に取り組むたい。学生の学修成果や活躍状況については修了生を輩出することができた時点で改めて詳細な分析を行うこととしたい。

2. 令和6年度プログラム対象科目の履修・修得状況について

プログラムとしては現在進行中の状況であり、令和5年度に開講されたプログラム対象科目2科目に加え、令和6年度は3科目が開講された。各科目の履修・修得状況は以下の通りである。ただし、対象は社会情報学部の1、2年生に限定する。

科目名	履修者数	合格者数	S (≥90 点)	A (≥80 点)	B (≥70 点)	C (≥60 点)	合格率
AI 入門	196	182	40	59	64	19	93%
統計学 I	176	174	0	96	39	39	99%
プログラミング演習 I	167	127	50	20	30	27	76%
AI 概論	138	133	27	62	36	8	96%
データサイエンス基礎演習	152	143	8	64	41	30	94%

(※参考：令和 5 年度の履修・修得状況)

科目名	履修者数	合格者数	S (≥90 点)	A (≥80 点)	B (≥70 点)	C (≥60 点)	合格率
AI 入門	153	134	27	43	33	31	88%
統計学 I	184	184	0	160	16	8	100%

「AI 入門」は令和 5 年度に不合格であった学生による再履修も含め、履修者が大幅に増え、合格率も向上しており、学習に対して意欲的に取り組むことができていると思われる。一方、今年度開講した「プログラミング演習 I」が比較的合格率が低い。毎回の課題に対し、個別にフィードバックし、修正後の再提出を許可していることにより、意欲の高い学生とプログラミングに苦手意識のある学生で成績が両端に分かれた結果となった。今後、課題のレベルやサポート方法を再検討する必要がある。

3. 令和 6 年度授業アンケート結果

上記 5 科目に対し、以下の質問項目でアンケートを実施した。

- A 問 1)：授業が進むペースはちょうど良かったですか？
- B 問 2)：授業内容がよく理解できるように工夫・配慮されていましたか？
- C 問 3)：質疑応答や意見交換等の機会が設定されていましたか？
- D 問 4)：話し方や言葉遣いはわかりやすかったですか？
- E 問 5)：教科書や資料、教材等はわかりやすく、授業の理解に役立ちましたか？
- F 問 6)：課題や提出物等に対してのフィードバックはありましたか？
- G 問 7)：主体的に学べるための工夫がされていましたか？

H 問 8)：あなたは授業の目的や目標について理解して学びましたか？

I 問 9)：あなたは授業の内容をよく理解できましたか？

J 問 10)：新しい知識やスキルを学びましたか？

K 問 11)：学んだ内容についてさらに深く学びたいと思いましたか？

L 問 12)：予習・復習等に平均して週あたりどのくらい学修しましたか？（授業外での友人同士の 意見交換等も含む）

科目名	回答者数	A	B	C	D	E	F	G	H	I	J	K	L
A I 入門	14	3.5	3.6	3.6	3.7	3.7	4.1	3.8	3.6	3.6	3.8	3.4	2.2
A I 入門	27	3.6	3.7	3.6	3.8	3.8	4.1	3.4	3.6	3.5	3.9	3.5	2.6

科目名	回答者数	A	B	C	D	E	F	G	H	I	J	K	L
統計学 I	6	2.8	2	2.5	2.5	2	2.2	2.3	2.5	2.5	2.8	2.5	2.5
統計学 I	12	2.9	2.8	2.8	3	2.8	2.5	3	3	2.7	3.3	2.7	1.8

科目名	回答者数	A	B	C	D	E	F	G	H	I	J	K	L
プログラミング演習 I	8	3.9	4.4	4.8	4.6	4.1	4.9	4.8	4	3.4	4.6	3.5	3.9
プログラミング演習 I	5	3	3.8	3.6	3.8	4.2	4.8	4	3.6	3.8	4.6	3.2	3.8
プログラミング演習 I	3	2	2.7	4.3	3.3	2.7	4.3	3.7	2.7	2	3.3	2	3
プログラミング演習 I	7	3.3	3.3	3.8	3.2	3.7	4.7	3.7	3.7	3.3	4.2	3.5	4

科目名	回答者数	A	B	C	D	E	F	G	H	I	J	K	L
A I 概論	11	4.6	4.7	4.5	4.6	4.2	4.9	4.5	4.2	4	4.3	4	2.1
A I 概論	2	4.5	4.5	4.5	4.5	4.5	4.5	4.5	4	3.5	4.5	3	1.5

科目名	回答者数	A	B	C	D	E	F	G	H	I	J	K	L
データサイエンス基礎演習	2	3	3	2	3.5	3.5	2	4	3.5	3.5	4	3	2.5
データサイエンス基礎演習	23	2.6	2.4	2.5	2.5	2.7	2.5	2.7	2.7	2.3	3.1	2.3	2
データサイエンス基礎演習	4	2.5	2.3	2.5	2.8	3	2.8	2.5	3	2.5	2.8	2.5	2.5
データサイエンス基礎演習	17	3.2	3.4	2.8	3.3	3.4	4.2	3.5	3.4	2.9	3.6	3.2	2.8

各科目は2クラス、または4クラスに分かれて実施しているため、クラスごとのアンケート結果を示す。学生による回答率が低く、クラスごとにばらつきもあるため適切な判断が難しいが、「統計学Ⅰ」や「データサイエンス基礎演習」は、合格率は問題ないものの、成績がSの学生が少なくアンケート結果からも授業内容が比較的難易度が高かったことが考えられる。また、同じ教員による同じ授業でもアンケート結果に大きな差が見られるものもあるため、学生の理解度に合わせた内容や進め方の調整が可能か検討を進めたい。

4. 学生アンケート等を通じた後輩等他の学生への推奨

入学時のオリエンテーション及び各学期のガイダンスにおいて担任教員より本プログラムの意義を説明し履修指導を行うとともに、既設の社会情報学部ホームページの受講ガイドを活用し学生に周知するなど、毎年度できるだけ多くの学生が履修できるように考えている。今後は学生アンケートも実施することも検討し、より学生に推奨していきたい。

5. 全学的な履修者数、履修率向上に向けた計画の達成・進捗状況

今回、本学部において開設された応用基礎レベルの状況からカリキュラムの難易度を含めた学生の実態を把握し、全学的に応用基礎レベルまで広げることができるかを検討することになる。プログラムの修了生を輩出するタイミングをもって見極めたい。

以 上